

25年目の弦楽四重奏 (2012)

A LATE QUARTET

メディア 映画

ジャンル ドラマ 音楽

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 106分

初公開日 2013/07/06

公開情報 角川書店

映倫 R15+

【キャッチコピー】

人生にリハーサルはない。

【解説】

結成25年目にして存続の危機を迎えた弦楽四重奏団で繰り広げられる衝突と葛藤の人間模様を実力派俳優4人の豪華アンサンブルで綴る音楽ヒューマン・ドラマ。チェリストの突然の引退宣言を契機に、それまで調和を保ってきた4人の人間関係に思わぬ不協和音が生じていくさまを、彼らが演奏するクラシック音楽に重ね合わせて描き出す。出演はフィリップ・シーモア・ホフマン、クリストファー・ウォーケン、キャサリン・キーナー、マーク・イヴァニール。監督はこれが長編2作目にして劇映画初挑戦となるヤーロン・ジルバーマン。

世界的に有名な弦楽四重奏団“フーガ”。結成25周年となる記念の年、彼らが演奏会のために選んだ曲は“ベートーヴェン弦楽四重奏曲第14番”。それは定型の4楽章ではなく7楽章で構成され、しかも全楽章を途切れることなく繋いでいく“アタッカ”とよばれる奏法で演奏しなければならない難曲だった。しかしリハーサルが始まるや、リーダー格のチェリスト、ピーターがパーキンソン病のために今季限りで引退すると宣言。残された3人は激しく動揺し、完璧だったハーモニーが狂い始める。長年第2ヴァイオリンに甘んじてきたロバートはこれを機に第1ヴァイオリンを弾きたいと言い出し、第1ヴァイオリンを務める完璧主義のダニエルばかりか、妻でもあるヴィオラのジュリエットにさえ否定されてしまう。やがてロバートとジュリエットの夫婦仲にも亀裂が生じ、演奏会に向けてのリハーサルは遅々として進まず…。

【クレジット】

監督	ヤーロン・ジルバーマン	Yaron Zilberman
製作	タマル・セラ	Tamar Sela
	ヤーロン・ジルバーマン	Yaron Zilberman
	ヴァネッサ・コイフマン	Vanessa Coifman
	デヴィッド・フェイジェンブラム	David Faigenblum
	エマニュエル・マイケル	Emanuel Michael
	マンディ・タガー・ブロッキー	Mandy Tagger Brockey
脚本	ヤーロン・ジルバーマン	Yaron Zilberman
	セス・グロスマン	Seth Grossman
撮影	フレデリック・エルムズ	Frederick Elmes
プロダクションデザイン	ジョン・カサルダ	John Kasarda
衣装デザイン	ジョセフ・G・オーリシ	Joseph G. Aulisi
編集	ユヴァル・シャー	Yuval Shar

音楽	アンジェロ・バダラメンティ	Angelo Badalamenti	
音楽監修	モーリーン・クロウ	Maureen Crowe	
出演	フィリップ・シーモア・ホフマン	Philip Seymour Hoffman	ロバート・ゲルバート
	キャサリン・キーナー	Catherine Keener	ジュリエット・ゲルバート
	クリストファー・ウォーケン	Christopher Walken	ピーター・ミッチェル
	マーク・イヴァニール	Mark Ivanir	ダニエル・ラーナー
	イモーゲン・プーツ	Imogen Poots	アレクサンドラ・ゲルバート
	リラズ・シャルヒ	Liraz Charhi	
	ウォーレス・ショーン	Wallace Shawn	
	マドハール・ジャフリー	Madhur Jaffrey	